

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	エクスカーション「山国川発中津干潟 なかつん水物語」
主催者	中津エクスカーション実行委員会（NPO法人水辺に遊ぶ会・東京大学清野聡子研究室・ARRN ほか）
開催日	2007年12月 <input type="checkbox"/> 1日 <input type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input checked="" type="checkbox"/> 5日
開催時間	8:00～17:00
開催場所	<input type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input checked="" type="checkbox"/> その他
会場名	中津市 山国川流域
参加人数	約50名

開催概要（900字以内）

[行程]

別府発日田経由で山国川上流へ～野焼き・棚田・茶畑・耶馬溪ダム・耶馬溪鉄道跡などを見学
 青洞門～オランダ橋～荒瀬井路と川平間歩：山国川の利水事業の土木遺跡を見学
 洞門パティオにて「地産地消」のバイキングで昼食
 唐原遺跡群、中津城：古代の人々の知恵と水について見学
 舞手川河口：市民参加型海岸事業の「セットバック護岸」見学
 今井一郎氏（京都大学）ミニ講演会・地元漁業者との交流会
 解散

[感想など]

韓国やインドなど外国のゲスト6名を含む30名を超えた参加者と、山国川流域の水文化を駆け足で見学する一日でしたが、お天気にも恵まれ、和気あいあいとした楽しい雰囲気のエクスカーションとなりました。

「水産を勉強しているがこのように漁業者の話を聞くのは初めてで興味深かった」との学生さんの感想や、「日本の水文化を知ることができた」との海外のゲストなどの感想のほか、「今まで当たり前前に過ぎてきた地域の環境について考え直すことができた」などという地域の方々の感想もいただきました。また、「地元の野菜が大変美味しかった」と、昼食も好評でした。

水環境問題を考えるとき、自分たちの足元の水をきちんと知ることが大切だということを、改めて感じた一日でした。また、海外の方や地元の業者とも、ゆっくり話をする機会が多く、次の活動につながる交流ができたのではないかと考えています。

